

1年生は、5月28日～6月1日の4泊5日、安城市茶臼山高原野外センターにおいて、「つなごう 友との絆 ひとつになれ 145人の心」をスローガンに掲げ、**自然教室を行いました。**

野外センターに近づいたとき、道路が雨でぬれているのを見て、今夜はカレー作りがあるのに、また雨が降るのかなと（5年生の自然教室では、台風の接近に伴い警報が発令され、自炊ができなかったという経験から）心配しました。食べるときに、少し雨に降られたけれど、カレーは作ることができてよかったです。火をつけるところからの自炊はすごく大変だということが分かりました。ハイキングで登った萩太郎山のきれいな芝桜や、



すごく怖かった怖い話&肝試し、ゲームや歌で楽しく過ごしたキャンプファイヤーは、どれも心に残っています。自炊や備品の返納では、「男女仲良く、協力しよう」の目標を達成することができ、キャンプファイヤーやキャンドルサービスでは、学年の目標だった絆を深めることができたと思います。自然教室は、とても楽しかったです。大橋 那穂さん



水と電気と協力の大切さを実感した自然教室でした。自炊のときには使えていた水が、4日目のシャワーのときから出なくなり、トイレの水の流れが悪くなってしまいました。また、テントの生活では、夜はとても暗く、どこに物があるか分からなくて困りました。最初の自炊では、何をどうすればよいかわからないことがいっぱいありました。でも、日に日にすることが分かってきて、みんなてきぱきと行動するようになりました。水を節約したり、手探りで物を探したりする経験を通して、水や電気のありがたさを感じました。キャンプファイヤーの火の舞いでは、いろいろな技を見せてもらいました。すごくかっこよく、感動しました。みんなの絆を深めるキャンドルサービスでは、一人一人のキャンドルの炎を見つめながら、みんなと、先生との絆が深まったと思いました。 深津くん



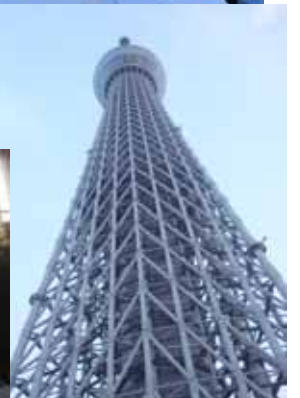
3年生は、6月6日～8日、東京方面に、「学べ！楽しめ！GO!GO!東京」をスローガンに**修学旅行に出かけました。**

初めての東京。駅では、何百人もの人が忙しそうに行き交う姿に圧倒されました。人の波に酔い、目が泳いでいるのが自分でも分かりました。2日目の追究。私たちは、切符の買い方すら分かりませんでした。何線に乗るか、乗り換えは、そのあとはなど、目的地にどうやっていくのか迷いました。「困ったら駅員さんに聞こう。」という事前学習を思い出しました。「駅員さんに聞こう。」と、私の手を強く握る友達の手を引いて、改札口へ向かいました。駅員さんは、優しく、道案内をしてくださいました。無事、目的地に着くことができました。



話を聞いた商店街の方は、笑顔と活気にあふれていました。地域の方とのつながりを大切にしたいイベントを月に何度も開くことで、人情あふれる今の商店街になったと話してくれました。大都会東京は、それぞれの地域の方や、訪れる観光客など、たくさんの人と人とのつながりを大切にすることで、成り立っている都市だと気づきました。

私たちも、クラスや学校の中のつながりだけでなく、地域の方やお店の方とのつながりを大切にして、明中の地域や安城をもっと活気のある町にしようと思います。 深津さん



2年生は、22日に、鉄板から自動車のボディを造り出す金型を設計される田口さん、荷物を効率よく運搬できるようにする物流システムを開発される石川さん、患者に寄り添う看護をされる内科看護師の上野さん、学校や公園、道路の樹木を植える、切って整える庭師の加古さん、自動車やバイクの部品を製造する地元企業の社長、亀山さんら5名の講師を招き、**職業セミナーを開きました。**現在、自立心、社会性を養い、職業観・勤労観を育て、将来に向けた生き方を考えさせる職場体験学習（文部科学省の推進するキャリアスタートウィーク、愛知県が推進するあいち・出会いと体験の道場の方針に従って）の準備をして



います。今後、夏休み中の職場体験（3日間）を、本校では一事業所に一人で体験します。一連の学習で、望ましい人生観を培いたいと考えています。お家でも、話題にしていれば幸いです。